

6月18日(水) 火災避難訓練

1時間目の授業中に家庭科室より出火という設定で火災避難訓練を実施しました。

児童は事前に校舎の教室配置図を見て、出火場所によって火元から離れた避難経路を選ばなければいけないことを学習しました。

出火の放送を聞いた後、どのルートを選ぶかを確認し、クラスごとに校庭まで避難をしました。

避難後は静かに待機し、逃げ遅れた児童がないかの確認が終わるまで真剣に取り組むことができました。その時に話をした内容です。



今回の避難訓練では、火災の発生から全員が校庭に出て、全員の確認ができるまでに8分かかりました。煙は縦の方向に1秒間で3～5mも広がります。なので、1秒でも速く避難することは全員と命を守るためにも大切です。

安全に速く避難するためのルール「お・は・し・も」について各クラスで先生から教えてもらっていると思います。「お」は、「押さない」です。「は」は、「走らない」です。避難を速やかに行うのはいいことですが、校庭に出るまでは極力走らないようにしましょう。「し」は、「しゃべらない」です。「も」は、「もどらない」です。

いざというときに安全に避難できるためには、普段からできる3つの習慣についてお話しします。

1 つ目は普段から、先生の話や放送を目と耳と心で聞く習慣をつけましょう。おしゃべりをしていると先生の指示や校内放送が聞こえず、どのように避難したらいいのかわかりません。

2 つ目は静かに並んで教室移動をする習慣です。火事の煙で前がよく見えない中、走るとつまずくことや、何かにぶつかってケガをしてしまうおそれもあります。また、避難の列がなかなか前に進まない、どうしても押したい気持ちになってしまいます。避難を急ぐ気持ちはわかりますが、前の人を押すのは非常に危険です。最悪「ドミノ倒し」状態になってしまい、多くの人転倒し、結果避難が遅れたりケガをしてしまったりするおそれもあります。

3 つ目は帽子をかぶり、靴をきちんと履く習慣です。

火災の時は火の粉が飛んできたり、熱い風が吹きつけたりします。その時に帽子が皆さんの大切な頭を守ってくれます。また、靴をちゃんと履いていないと、急いで逃げている時に脱げてしまい、とても危険です。

この3つは毎日習慣づけることが大切です。

また、避難の際のルールに加え、日ごろから避難経路を確認しておくことも重要です。今回の避難経路だけでなく、学年や教室が変われば避難経路も変わるので、火元に近づかない避難経路を普段から考える練習をしましょう。



お知らせとお願い

梅雨に入り、気温と湿度の高い日が続いています。また、水泳が始まり、午後の授業では「疲れた。」と言いながらも子どもたちは学習に取り組んでいます。昼からお茶が足りない児童も出てきていますので、水筒を2つにする等、お子様と相談して十分な量を持たせていただけたらと思います。

また、6月27日(金)は授業参観と「インターネットトラブル防止講座」となっております。ぜひ、お越しいただき、学校での様子をご覧ください。

HPリンクへ ⇒ [別府西小学校／加古川市](#)